



# 蒼穹

あおそら

八戸市立長者中学校  
学校だより第8号  
文責：石毛 清八  
平成29年7月3日  
TEL(0178)43-4871

## 市中体 夏季大会

# 長者中各競技で健闘

6月20日～22日、八戸市中学校体育大会夏季大会が行われた。長者中選手団は「今出し切れ！輝く栄光つかむとき」の学校スローガンを胸に刻み3日間を全力で戦い抜いた。その結果、野球競技第3位、個人種目では女子バドミントン競技第1位、陸上1年男子100M、女子四種混成競技での第1位をはじめ、陸上競技、男子卓球、女子剣道、男子柔道、体操競技で上位入賞し、県大会出場を果たした。また、開会式では選手団の先頭を飾るために八戸を目指し練習した行進、応援も堂々として美しく、感動的であった。県大会は県内各会場で7月15日～17日に行われる。



# 今日は 昨日の我に勝つ

校長 石毛 清八

「今出し切れ！輝く栄光つかむとき」を学校スロ―ガンに、八戸市中学校体育大会夏季大会開会式が東運動公園陸上競技場で開催されました。今年、行進の先頭を飾ったのは本校選手団。校名プラカード保持者の滝澤知里さん、校旗保持者の村山颯君を先頭に長者中学校選手団の入場行進は堂々としていて実に素晴らしかったです。また応援団の応援する姿勢・態度とも大変立派でした。私は本部前のトラックに一番近い席で、長者中選手団がはつらつと行進する姿や、岡堀司君と佐藤佳南さんが全選手を代表して、力強く宣誓する姿を間近で見ました。感動するとともに君たちを大変誇りに思いました。

大会の結果は、団体種目では野球の第3位、個人種目では、男子卓球、女子剣道、陸上競技、柔道、体操競技、バドミントンで県大会出場を勝ち取ることができました。これらは全て皆さんの普段の努力とコーチ・先生方のご指導、家族や地域の方々の支えの賜物であります。開会式での大会長挨拶の中に「感謝の気持ちを忘れないように」との言葉がありました。大会役員の方々、先生方、地域の方々、家族はもちろんですが、今まで苦楽をともにしてきたチームメイト、そして皆さんと真剣に全力で戦い、皆さんを成長させてくれた相手校の選手、大会を支えてくれた全ての人々に感謝をしましょう。県大会に出場する皆さんには、たくさんの方々が目をつけています。県大会まで12日間という短い期間ですが、八戸市の代表として恥じないようにしっかり準備をして大会に臨んでください。

さて、中体連は終わりましたが、これで全て終わったわけではありません。県大会に出場する人はもちろんですが、全ての人達についてこれからスタートするものもあることを忘れてはなりません。私たちは、一つのもので終わっても、そこで立ち止まるのではなく、常に前進していかなければなりません。柳生心陰流の剣豪宮本武蔵の言葉に「今日は昨日の我に勝つ」という言葉があります。勝ち負けとは他人と比べて優れているとか勝っている負けているというよりも、常に自分との戦いなのだということです。昨日の自分よりも今日の自分。今日の自分よりも明日の自分というように、日々成長していく自分でありたいものです。

106日間の1学期が終わろうとしています。一年の約三分の一が終わることになります。ここにいる一人一人が4月に立てた目標にどれだけ近づくことができたでしょうか。また、学級目標にはどれだけ近づけたでしょうか。県大会での長者中選手団の健闘と活躍を期待するとともに、長者中学校の生徒全員が新たな目標に向かってスタートすることを願っています。

# 野球は第3位



野球部主将 岡堀 司

市内25校の行進で始まった市中体夏季大会。6,255名の代表として僕は選手宣誓をしました。宣誓するときには、とても緊張しましたが、はっきりと言うことができたのでよかったです。

僕たち野球部は「県大会出場」を目標にこの大会に臨みました。初戦の相手は北稜中学校でした。この試合は、大会の初戦だったのでみんな緊張してしまい、思うようなプレイができなかったのですが、4対1で勝つことができました。

2戦目の相手は小中野中学校でした。小中野中学校とは何度か練習試合をしたものの、一度も勝ったことのない相手でした。1回表に2点先制されてしまったものの、その裏で2点を取り同点にし、再び逆転されても同点にするというような粘り強い試合ができました。そして、延長8回の末、5対4で逆転サヨナラ勝ちすることができました。

準決勝の相手は湊中学校でした。湊中学校は今までに試合をしたことがない相手でした。この試合は僕たちが先制点を奪ったものの追加点がなく、1対0で試合が流れていきました。4回までは相手チームを0点で抑えていたものの、5回の裏に自分たちのミスを突かれて逆転されてしまいました。そして、その得点が決勝点となってしまい、4対2で敗れてしまいました。結果は負けてしまったものの、大会中、自分たちが「挑戦者」であることを忘れずにプレイし、第3位という結果を残すことができてよかったです。この試合が3年生にとって最後の試合になったのですが、チームの雰囲気も今までで一番のものにできたのでよかったです。

また、3年間支えてくださった保護者の方々や自分たちのプレイを細かいところまで教えてくださった顧問の先生方、応援してくださった応援団の皆さんに感謝します。